

平成14年9月13日

関 係 各 位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号  
 高千穂交易株式会社  
 代表取締役社長 山村秀彦  
 (登録銘柄コード・2676)  
 問い合わせ先  
 取 締 役  
 経営システム本部長 赤堀寛人  
 電話 03-3355-1189

平成15年3月期中間および通期の業績予想(連結・単体)の修正について

平成14年5月14日付当社「平成14年3月期決算短信」で発表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)中間および通期の業績予想(連結・単体)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 ( A )	10,769	473	326
今 回 予 想 ( B )	10,979	387	203
増 減 額 ( B - A )	210	85	123
増 減 率	2.0%	18.2%	37.9%
前期(平成14年3月期)中間期実績	9,255	131	433

(2) 通 期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 ( A )	22,166	1,180	789
今 回 予 想 ( B )	21,860	921	506
増 減 額 ( B - A )	306	259	283
増 減 率	1.4%	22.0	35.9
前期(平成14年3月期)通期実績	19,773	683	793

### (3) 連結修正理由

#### 中間期

売上高につきましては、重点戦略部門のセキュリティシステム販売が、積極的な市場開拓戦略により、複合セキュリティシステムや大手ドラッグストアへの商品監視システムの納入などが寄与し、前年比約 39%増で当初売上予想通りのほか、半導体売上が通信やPC向けなどを中心に前年比約 21%増で当初予想を上回る見込のため、中間期連結売上高は前年比約 18%増で当初予想を上回る見通しであります。

一方、システム機器事業において、情報ネットワークシステム及びメーリングシステム売上額は前年増ながら、当初予想を下回る見通しであります。

結果、デバイス事業で当初売上予想を上回りますが、システム機器事業では当初予想を下回り、システム機器事業の売上構成比率が前年比で若干上昇するものの、当初計画を下回る見通しであります。

利益につきましては、売上構成の影響やシステム機器事業で低価格商品比率増の影響から粗利益率低下が見込まれ、販管費の圧縮に努めました結果、経常利益は前年比約 195%増で、後述のたな卸資産評価減の影響を除けば、前回発表予想を若干下回る見通しであります。

そして、当期利益は、米国株価低迷からナスダック上場の投資有価証券の売却を見送る見込みのため、後述のたな卸資産評価減の影響を除けば、前回発表予想を 16%下回る見通しであります。

しかし、当社の事業は情報ネットワークや半導体事業など市場ニーズの変化が早く、将来の商品価格下落リスクに対応するため、この中間期より、当初業績予想に加えて、たな卸資産評価減制度を導入追加する予定で、評価減約 70 百万円を見込むことといたしました。そのため、経常利益及び当期利益の修正予想値は、たな卸資産評価減約 70 百万円を折り込んだ数値であります。

#### 通 期

売上高につきましては、セキュリティシステム売上は上期同様に推移し、前年比約 26%増で当初売上予想を上回りますが、半導体売上が生産調整の影響が見込まれることから前年比約 3%増のほぼ前回予想通りの見込みのため、通期連結売上高は前年比約 10%増で、前回予想を若干下回る見通しであります。

利益につきましては、引き続き販管費圧縮に努めますが、セキュリティシステム販売で積極的な販促費用を予定しており、経常利益及び当期利益は中間期と同様に、前回発表の予想を下回る見通しであります。

また、中間期と同様にたな卸資産評価減を見込んでおります。

## 2. 単体業績予想の修正等

### (1) 中間期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 ( A )	10,295	452	314
今 回 予 想 ( B )	10,629	365	195
増 減 額 ( B - A )	334	86	119
増 減 率	3.2%	19.2%	37.9%
前期(平成 14 年 3 月期)中間期実績	8,858	134	443

(2) 通 期 (平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 ( A )	20,642	1,068	698
今 回 予 想 ( B )	20,613	831	463
増 減 額 ( B - A )	28	237	235
増 減 率	0.1%	22.2%	33.7%
前期(平成14年3月期)通期実績	18,982	676	795

(3) 単体修正理由

連結業績見通しと同様であります。

当社は、今後とも新規商品の投入、市場の積極開拓などの施策を進めてまいるとともに、利益向上に努めてまいり所存であります。

以 上